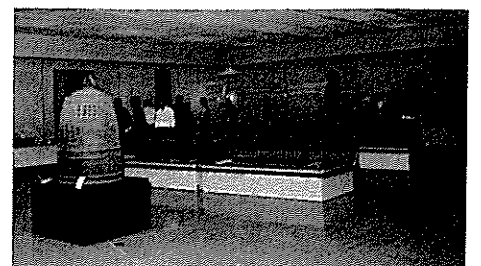


# 展示内容

## 美術展示室 (古代—中世)

材	質	品	名	時代	所	有	者
1. ◎	銅	造	觀世音菩薩像	宋	大	山	寺
2. ◎	絹本著色	楊柳觀音像		元	大	乘	寺
3. ◎	銅	造	觀世音菩薩立像	白鳳	大	山	寺
4. ◎	絹本著色	普賢菩薩像		平安	大	乘	寺
5. ◎	銅	造	觀世音菩薩立像	白鳳	大	山	寺
6. ◎	絹本著色	普賢十羅刹女像		鎌倉	大	忍	寺
7. ◎	銅	造	十一面觀音立像	白鳳	大	山	寺
8. ◎	木	造	藏王權現立像	白鳳	大	山	寺
9. ◎	木	造	毘沙門天立像	平安	大	長	樂寺
10. ●	木	造	胎藏界大日如来座像	平安	永	福	寺
11. ◎	木	造	千手觀音立像	平安	觀	音	寺
12. ◎	木	造	吉祥天立像	平安	学	行	院
13. ◎	銅	製	經筒	平安	倭	文	神社
14. ◎	金	銅	觀音菩薩立像	白鳳	倭	文	神社
15. ◎	銅	造	千手觀音立像	平安	倭	文	神社
16. ◎	銅	板	線刻弥勒立像	平安	倭	文	神社
17. ◎	木	造	毘沙門天立像	平安	豐	乘	寺
18. ●	木	造	女神座像	平安	三	仏	寺
19. ◎	木	造	持国天立像	鎌倉	青	竜	寺
20. ○	鉄	造	聖觀音立像	鎌倉	加	祥	区
21. ○	鉄	造	十一面觀音立像	鎌倉	加	祥	区
22. ◎	鉄	製	厨子	平安	大	山	寺
23. ●	銅	製	擬宝珠(二)	鎌倉	地	蔵	院
24. ●	銅	製	鰐口	室町	清	泉	寺
25. ●			和蘭陀写水指(勘助作)	江戸	河	田	一
26. ◎			楽焼黒茶碗(長次郎作)	桃山			
27. ●			青磁香炉	宋	地	蔵	院
28. ◎	銅	鏡	花綬鸚鵡文鏡	奈良	三	仏	寺
29. ◎			短刀(備前長船住兼光作)	鎌倉	大	神	山神社
30. ●	紙本墨書		大江広元書状	鎌倉	東京	国立	博物館
31. ●	紙本墨書		吉野切(伝後醍醐天皇筆)	鎌倉	東京	国立	博物館
32. ●	紙本墨書		藤原定家書状	鎌倉	東京	国立	博物館
33. ◎	金銀箔散料紙墨書		法華經法師功德品	平安	東京	国立	博物館
34. ◎	紙本金字		法華經第二	鎌倉	大	雲	院
35. ◎	紙本金字		法華經第四	鎌倉	大	雲	院
36. ◎	紙本著色		因幡堂縁起	鎌倉	東京	国立	博物館
37. ●	紙本著色		大山寺縁起(模本)		東京	国立	博物館
38. ●	紙本著色		ペルリ浦賀来航図	江戸	当		館
39. ●	紙本墨書		吉川元春祈願状・寄進状	桃山	加	知	弥神社
40. ●			梵鐘	平安	本	願	寺
41. ◎	木	造	薬師如来坐像	平安	学	行	院



仏像、仏画 (古代—近世)

(近世—近代)

日本画 (第1展示室、第3展示室)

片山楊谷

- 1 菊 慈 童 図 絹本着色 三幅对
- 2 牡 丹 図 //
- 3 猛 虎 図 //

土方稻嶺

- 4 寒 月 梅 花 図 絹本着色
- 5 山 鳥 図 //
- 6 牡 丹 猫 図 //
- 7 太 公 望 図 //
- 8 双 鷄 図 //
- 9 群 鶴 図 //
- 10 牡 丹 孔 雀 図 //
- 11 猛 虎 図 //
- 12 東 方 朔 図 //
- 13 鵲 図 //

- 14 葦 間 潜 鯉 図 六曲屏風一双
- 15 遊 鶴 図 紙本淡彩
- 16 雲 竜 図 紙本墨絵 二幅对

黒田稻臯

- 17 群 鯉 游 泳 図 紙本墨絵 六曲屏風一双
- 18 河 骨 群 鯉 図 絹本着色
- 19 春 寒 図 //
- 20 双 鯉 図 //
- 21 魚 紋 図 //
- 22 牡 丹 小 禽 図 //
- 23 群 鯉 図 //
- 24 雲 竜 図 //
- 25 游 鯉 図 //
- 26 群 鯉 游 泳 図 //
- 27 柏 鷹 図 二幅对

島田元旦

- 1 花 鳥 図 絹本着色 二幅对
- 2 秋 景 山 水 図 //
- 3 花 鳥 図 //
- 4 雪 中 山 水 図 //
- 5 草 花 図 紙本着色 三幅对
- 6 青 緑 山 水 図 絹本着色 二幅对
- 7 花 鳥 図 //

沖探容

- 8 青 緑 赤 壁 図 絹本着色
- 9 富 士 見 西 行 図 //
- 10 足 柄 山・逢 坂 山 図 //
- 11 墨 竹 図 絹本墨絵

沖一峨

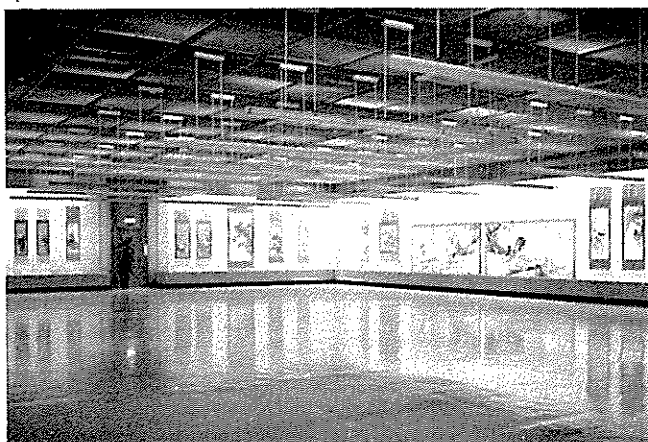
- 12 小 禽 図 絹本着色 二幅对
- 13 四 季 花 鳥 図 //
- 14 老 松 日 出 鶴 図 //
- 15 四 季 草 花 図 //
- 16 官 女 図 //
- 17 舞 妓 図 //
- 18 四 季 草 花 図 //

建部樸斎

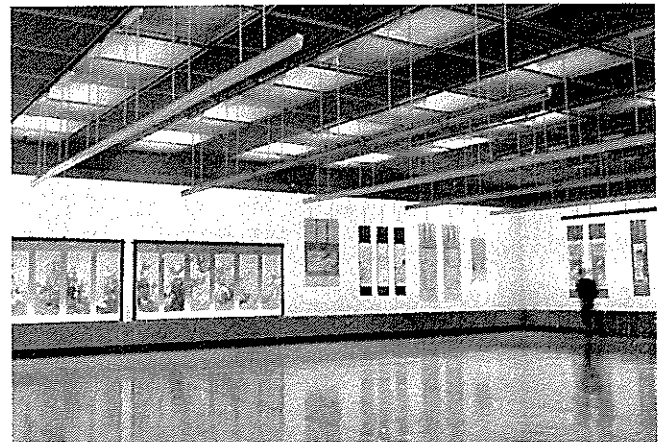
- 19 浅 絳 山 水 図 絹本着色
- 20 山 水 図 //
- 21 老 樹 図 紙本淡彩
- 22 山 水 図 //
- 23 浅 絳 山 水 図 絹本淡彩

菅楯彦

- 24 千 槍 将 登 絹本着色
- 25 神 倉 秋 景
- 26 赤 日 浪 速 人



日本画 (近世)



日本画 (近世、近代)

西洋画 (第2展示室)

前田寛治

1	立てる子供	50F	1922
2	男の像	50F	1924
3	作品	8F	
4	工場風景	25F	
5	メーデー	30F	1924
6	赤い帽子の少女	30F	1925
7	ブルターニュの女	100F	1925
8	赤い服の女	30F	
9	西洋婦人像	12F	1925
10	褐衣婦人像	30F	1925
11	パリー風景	12F	1925
12	郷里風景	8F	
13	西洋婦人像	30F	
14	黒衣婦人像	30F	1925
15	C嬢	50F	1926
16	裸婦	10F	
17	仰臥裸婦	80F	1927頃
18	母の像	100F	1927
19	棟梁の家族	100F	1928
20	労働者	50F	1928
21	海	300F	1929
22	新緑風景	50F	1929
23	裸婦	80F	1928
24	ベッドの裸婦	80F	1928
25	裸婦	80F	1928
26	赤えりセーターの男	8	1925
27	桜桃を食う労働者	50	1925

伊谷賢蔵

1	天橋小鳥の市	100F	1941
2	室内裸婦	120F	1949
3	初夏	80F	1949
4	緑陰欲喜之図	80P	1950
5	罌粟と裸婦	80P	1952
6	画室の一隅	60P	1954

7	卓上秋果	40M	1955
8	立石山	60P	1955
9	万年山	100F	1956
10	柘榴などの静物	30F	1956
11	立てる裸婦	10M	1958
12	裸婦と金仙花	50P	1958
13	南瓜などの静物	50P	1959
14	インカの町	15F	1963
15	トレドの秋	50F	1964
16	ピサックの日曜日	80F	1964
17	アンデス高原の女達	80F	1965
18	朝市のインディオ達	80F	1966
19	伯耆大山晩秋	50	1967
20	クスコの朝市	60F	1968
21	卓上秋果	12F	1968
22	万年山早春	80F	1968
23	梅	50P	1968
24	雲と噴煙の桜島	80F	1968
25	朝市のインディオ達	80F	1969
26	裏大山晩秋 (ペルー)	25F	1969
27	裏大山晩秋	25F	1969
28	花菖蒲	12F	1970
29	雲と噴煙の桜島	30F	1970
30	新穂高にて (未完成)	50F	1970

香田勝太

1	モレー運河	6F	1926
2	コンカール港	6F	1929
3	ブルターニュ風景	8F	
4	裸婦	30F	
5	裸婦	8F	
6	花	8F	1943
7	芍薬	10P	
8	雪	120変	
9	大山	30M	
10	松林山百合	30M	

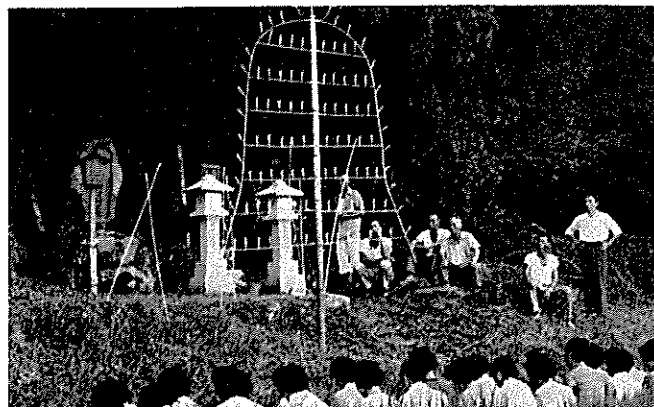


洋画  
前田寛治  
伊谷賢蔵

## イ、鳥取県の民俗年中行事写真展

主 催 鳥取県立博物館  
会 期 昭和48年3月3日(土)～3月25日(日)  
会 場 第2展示室

入館料 通常展料金  
展示内容 写真 130点



盆行事「まんどう」岩美町太田

展示内容は県内各地の四季さまざまな行事をカラー写真を加えて解説したものである。

これらの資料は、過去10年間にわたって調査撮影したものの集約で、展示資料の中には既に廃絶したものもかなりあり、この点当該資料のもつ価値は大きく、意義ある催しであった。

### ① 正月の行事

正月コーナーでは、歳神を迎える歳徳俵からはじまり、こりぞめ、打ちぞめ、鳥追い等いわゆる大正月の予祝的な行事と、ほとほと、くだがい、とんどなどの小正月行事とに分けた。この中には三朝町坂本の歳徳さん、西伯町落合のとんどなど全く消滅したものもあり、また西伯町境の田打正月、気高町酒津のとんどうのように、その存続が危ぶまれつつある行事もあって、入念に解説を行なった。また若桜町春米と、智頭町三明における一連の正月行事を特集として取り上げた。特に三明の行事は、既にその殆んどが数十年前に廃滅したものであるが、本年正月にその復元をはかり記録したものである。

### ② 春の行事

春の行事としては、ことの日、流しびな、百手の神事等が主なものである。このうち、ことの日は全県的にみられた習俗であったが今は殆んどが廃絶した。

### ③ 夏の行事

夏は、水口祭、虫送り、大山のもひとり神事、赤碓の荒神祭などを取り上げた。水口祭は鳥取市市場のものを展示した。この慣習も各地でみられたが、全く廃れ貴重な資料となった。虫送りは若桜町春米の行事を再現記録したものである。

### ④ 盆の行事

盆は鳥取市倉見のたなばたからはじまり、各地の精霊棚、まんどう、仏送り、盆踊り、地藏盆等を紹介した。盆は正月とともにわが国では、最も盛大に行なわれる行事であるため、かなりのスペースを割いて展示した。この中でも特異なものとして川の中に精霊花を立てて線香をたく智頭町八河谷の仏迎え、川原で赤飯を食べ、仏壇の供えものを川に流す若桜町落折の仏送りなどがあげられる。特に後者は、仏送りの原初的な形態をとるものと推定される内容を持ち、注目される資料である。

この他、岩美町太田の新仏を供養するまんどう行事も珍しいものの一つであった。

8月23日の地藏盆も面白く、殊に岩美町田後のそれは、村中の地藏を浜に集め供養する行事で、この風俗の本質を探る上で暗示に富む資料であった。

### ⑤ 秋の行事

秋は、智頭町芦津の虫井神社秋祭、気高町姫路の亥の子、西伯の申しあげ祭、羽合町田後の霜月祭など、収穫に伴う行事が殆んどであった。このうち亥の子行事は全く廃れてしまい、当資料は土地の古老の肝入りで復活記録したものである。その他の祭りは、いずれも当屋を主軸とし、氏神にその収穫物を捧げる感謝祭で、今なお厳粛に行

なわれている行事である。心残りであるのは、刈り祝こき祝など共同体の行事とは別に、家単位の習俗が全く廃れ記録、撮影できなかつたことである。

⑥ 暮の行事

暮の行事としては、気高町姫路の針千本、中山町の道祖神祭、鳥取の賃餅つき等である。ここでも、きしくさん、ひざぬり、太子講など十二月の特徴的な行事がなくなり、展示することができなくて僅かな枚数になったのは遺憾であった。

⑦ その他

最後に各時季に催されてきた、市の風俗を示した。特に二月の赤碓荒神ひな市、淀江の昔ながらの用品を並べた春市などが注目された。

以上、季節毎に写真を分類して展示したが、古くは行なわれていて、今は廃れて記録できず、展示できない行事もかなりあったので、今後は更にその復元に意を用い、資料の充実をはかるとともに、機会をみて改めてこのような展示会を開きたい。

(2) 館外主催

ア、鳥取県美術展

主 催 鳥取県教育委員会

会 期 昭和47年11月 5 日(日)～11月12日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

入館料 無料

展示概況

県内在住者を対象に、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書、写真会場の7部門にわたって一般公募して審査を行ない、入選作品と招待作品 102点を展観した。



日 本 画 会 場

展示点数

区 分	入 選	招 待	計	摘 要
洋 画	6 0	4 6	1 0 6	
日 本 画	5 1	1 1	6 2	
版 画	1 3	4	1 7	
彫 刻	9	5	1 4	
工 芸	4 5	3	4 8	
書	8 8	2 4	1 1 2	
写 真	6 4	9	7 3	
計	3 3 0	1 0 2	4 3 2	

県展選抜展出品作品

日本画 入江久子(水道) 松岡絹代(鏡の中の人)

洋 画 河田稔子(野の百合) 八木俊実(細路)

工 芸 谷尾三郎(剣先面取り座卓)

書 道 生田和範(抱甕)

写 真 高見則夫(村童)

入館者14,454人



洋 画 会 場

イ. 二科展

主催 日本海新聞社 二科会岡山支部  
 会期 昭和47年11月17日(金)～11月23日(木)  
 会場 第1展示室・第2展示室  
 入館料

区分	個人	団体
一般	500円	400円
大学生	300円	250円
高校生	250円	200円
中学生	200円	150円
小学生	100円	60円

日本海新聞創刊90年記念



二科展会場入口

展示内容

絵画 100点

東郷青兒、ベル串田、北川民治、西村竜介、斉藤三郎、井上覺造、増田勉、小玉光雄、中井史郎、東郷たまみ、佐久川和夫、渡辺義雄、几三郎、浜征彦、園回都夫、栗山淳、渡辺浩、佐々木源治、平權興山正吉、園回真幸、山本亜紀 ほか

彫刻 3点

商業美術 58点

松村慎一、井上喜文、外園勉、河辺一周、波多野友久、田野勝、田之室守、石井喜代志、小野寺栄子、喜岡徳光、塩川説子、仲隆三、磯辺壮吉、藤井浩二、浜村紀隆、藤本彰宏、河野道男、多田晋 ほか

写真 114点

林忠彦、秋山庄太郎、藤井梵、三沢富善、浅井康弘、中川文雄、中山陽、益川表子、入江貞義、嘉納義治、住田史典 ほか

入館者 6,000人

ウ. 鳥取県高校美術展

主催 鳥取県高等学校教育研究会美術部会  
 会期 昭和47年12月16日(土)～12月22日(金)  
 会場 第2展示室

展示内容

絵画 177点  
 彫刻 13点  
 工芸 47点  
 デザイン 32点  
 計 269点



洋画彫塑展示会場

入館者数 4,500人

エ. 鳥取県高校書道展

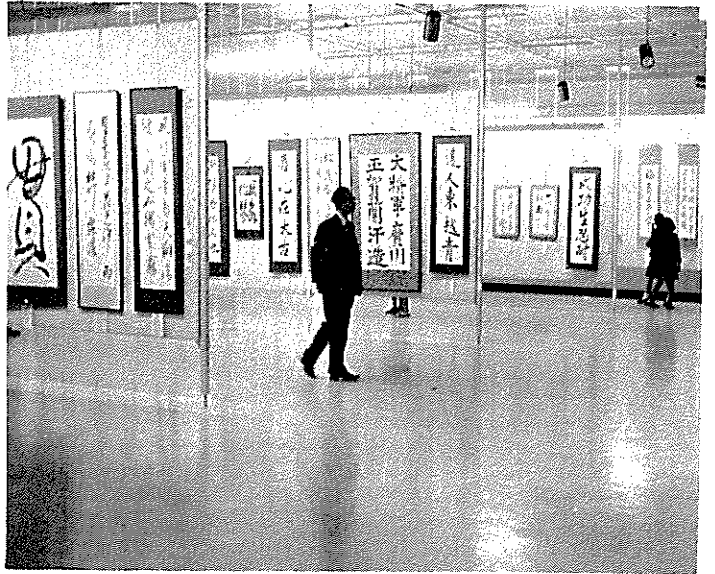
主 催 鳥取県高等学校教育研究会書道部会

会 期 47年12月16日(土)～12月22日(金)

会 場 第3展示室

展示点数 112点

入館者 4,500人



書道展示会場

オ. レオノール・フィニー展

主 催 読賣新聞大阪本社

会 期 昭和48年3月17日(土)～4月1日(日)

会 場 第1展示室

入場料

区分	個人	団体
一般	350円	250円
高校生	250円	150円
小・中学生	150円	70円



レオノール・フィニー展

展示内容 (83点)

脚のゲーム、おごそかに、庭園でのまどろみ、眠ねるフェビュス、パーマネントの帽子、ブランコⅢ  
レクレーション、子供部屋、息づく暗闇、夜の女神へカテ、夜汽車、遠い先祖、二つの間に、招かれた  
音たち、奥の眠、水のなかの三人娘、パークホテル、迫真的な遊び、パンドラの箱、白い汽車ほか  
水彩、ガッシュ 21点

腰かけた裸婦二人、小さな人物画、オレンジ色の髪の毛の頭、若者とスフィンクス、女と女の頭ほか  
デッサン 21点

「小さな娘」シリーズ

「レオノール、フィニー」

フィニーは、メアリー・キャサット、マリー・ローランサンと並ぶ世界の三大女流画家の一人。20世紀のはじめアルゼンチンで生れ少女時代をイタリヤで過し絵を独学、1930年代にフランスに移り、魔術的リアリズム、と呼ばれる独特な画風でパリ画壇にデビュー。フィニーの描く幻想的な世界は、そのままフィニーの世界であり、彼女の周辺は神秘と伝説で彩られている

入館者 8,000人

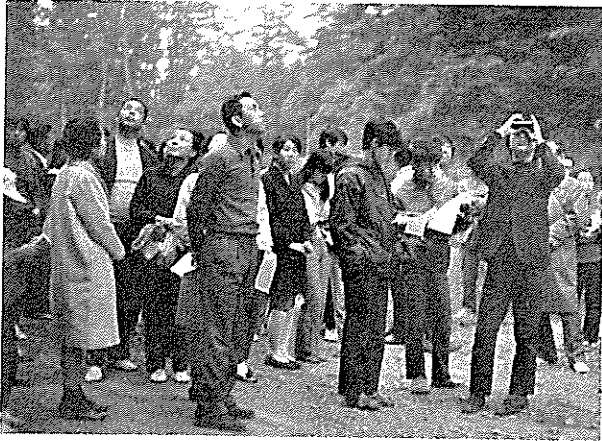
### 3. 教育普及活動

普及活動として、常設展示（地学、生物、考古、民俗、美術、史料） 各分野ごとにスライドを使用して展示解説した。又映写会は、自然、歴史、美術の関係映画を上映した。

#### 教育普及活動実施状況

事業名	月 日	内 容 ; 場 所	講 師 等	参加者	
天体観望会	4. 15 (土)	春の星座観望会 当館前	学芸係長	山名 巖	32
	7. 22 (土)	夏の星座 “ “		“	100
	7. 31 (月)	“ “ “		“	300
	9. 22 (金)	名月を見る会 “		“	155
	12. 9 (土)	土星と冬の星座 “		“	60
観察、採集会	5. 31 (木)	野鳥の声をきく会 おおち谷公園	学芸員	清末 忠人	98
	8. 6 (日)	鉱物採集会 日野町後谷	学芸係長	山名 巖	18
見学、視察	9. 27 (水)	史跡めぐり 倉吉市	文化課主事	野田 久男	68
	11. 28 (火)	民俗行事を訪ねる会 西伯町	学芸員	鶴田 憲弥	23
標本の名前を調べる会	8. 22 (火)	標本の名前を調べる会 鳥取市			201
講演会	10. 8 (日)	鳥取県の仏像について 当館	京都市芸大学長	佐和隆 研	210
	10. 15 (日)	人類誕生の地アフリカを訪ねて “	前、国立科博部長	尾崎 博	220
	10. 22 (日)	鳥取池田家史料について “	鳥取大教授	徳永 職男	150
	1. 14 (日)	大権寺遺跡について “	文化課主任	亀井 照人	35
	3. 18 (日)	鳥取県の年中行事 “	学芸員	鶴田 憲弥	12
展示解説	11. 3 (休)	鳥取県の民俗 “	学芸員	鶴田 憲弥	15
	11. 5 (日)	“ 地質 “	学芸係長	山名 巖	36
	11. 12 (日)	“ 生物 “	学芸員	清末 忠人	91
	11. 19 (日)	“ 古代 “	主任	治部田史郎	35
	11. 23 (休)	斉昭と慶徳 “	主事	福井 淳人	30
	11. 26 (日)	鳥取県の絵画 “	美術係長	安東 尚文	20
映写会	12. 3 (日)	海底にいどむ、日本のこころ			80
	12. 10 (日)	川は生きている			80
	12. 17 (日)	さいはての大陸、人類の敵			80
	1. 7 (日)	極点への道、日本の古墳			56
	1. 21 (日)	ニューギニア高地人、壁画よみがえる			35
	2. 4 (日)	北極圏の人々、よみがえる金色堂			120
	2. 11 (日)	砂漠にすむ人々			31
	2. 18 (日)	日本の古都			97
	3. 4 (日)	彩色の歴史、メコン			60
	3. 11 (日)	カニの生活、伝統工芸			133
					12
資料貸出し		市町村の文化祭等の文化活動に貸出し6回			





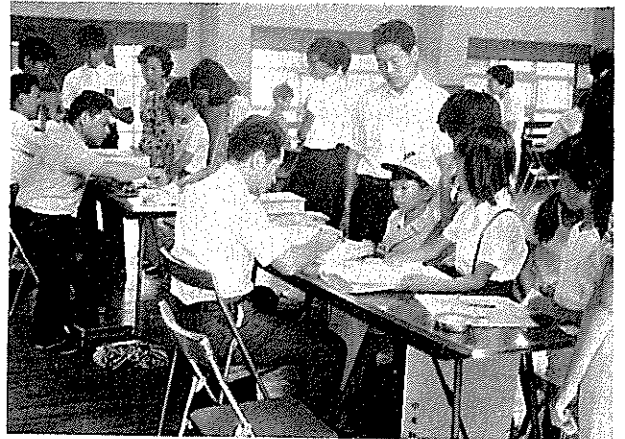
野鳥の声をきく会（おおち谷公園）



鉱物採集会（日野郡日野町後谷鉱山）



史跡めぐり（橋津古墳群）



標本の名前を調べる会（鳥取市児童会館）

#### 4. 調査研究

部門	事項
地学	県産化石のうちツキヒガイ科とウミタケモドキ科のものにつき、化石種および現生種と比較研究
生物	山陰沖に回遊して来たアカウミガメの生態や解剖に関する知見を整理
考古	当館に保有している資料の調査整理
民俗	弓浜半島に伝承されている資料の調査整理
美術	特別展「郷土美術名作展」及び常設展の美術資料の調査
史料	資料（沖剛介関係）の所在と内容及び徳川斉昭より慶徳あて書簡聞取り研究

#### 研究報告書等の刊行

名称	規格	頁数	備考
郷土と博物館（郷土と科学改題）第18巻第1号	A 5	48	定例 年2回
“ ” “ ” “ ” 第2号	A 5	28	
研究報告 第10号	B 5	35	定例 年1回
所蔵資料目録（隠花植物）第8号	A 5	24	定例
“ ” （考古資料）第9号	A 5	51	
郷土美術名作展図録（開館記念）	B 5	94	臨時
博物館 年報（48年度刊行）	B 5	50	年1回